

令和4年度 第2回
和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会
(仮称) 槇尾学園への通学手段と
オレンジバスの運行内容の変更について



和泉市都市デザイン部都市政策室



〈議案〉

□榎尾校区公共交通・通学バス路線の検討について…P.1～P.2



（仮称）榎尾学園の移動手段の検討状況

1. 全体像

【検討の視点】

■ 既存の公共交通ネットワークを有効活用し、（仮称）榎尾学園を乗換拠点とすることで、榎尾校区の移動の利便性を向上させる

→ 地域の実情に応じて路線バス、路線維持バス等を組み合わせて移動

【検討の背景】

令和7年4月に市南部地域の小中学校を統合した「（仮称）榎尾学園」の開校を予定

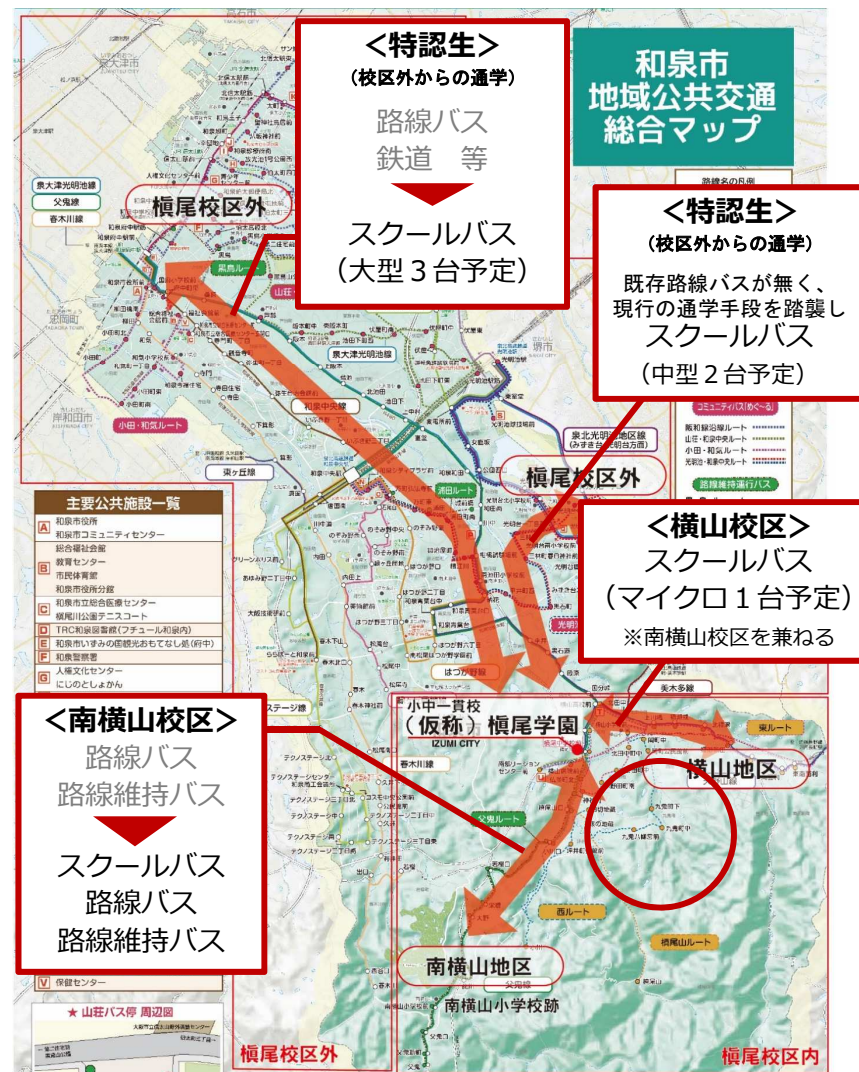
出来るだけ公共交通活用を前提に児童生徒の移動手段を検討

地域では「路線バス」「路線維持バス」「オレンジバス」が運行されているが、近年の人口減少や高齢化等に伴い、公共交通利用者が減少傾向

通学移動手段を地域交通としての活用の可能性検討

学校や地域、交通事業者等の関係者と調整し、（仮称）榎尾学園の移動手段と地域内公共交通を一体的に整理

（仮称）榎尾学園への通学の利便性の向上を図るため、地域及び保護者の要望も踏まえ、特認児童生徒及び榎尾校区内児童の通学手段は通学専用バスに変更





■（仮称）榎尾学園の移動手段と地域公共交通の検討状況

1. 横山・南横山校区内の運行

- 児童（1～6年生）の通学はスクールバス（マイクロバス）1台で支援し、生徒（7～9年生）は既存の公共交通を活用
- 坪井町や九鬼町など一部2km以上の地域→既存の公共交通を活用
- 地域交通（ワゴン2台）は地域住民の移動手段として運行

【通学手段】

令和7年4月に市南部地域の小中学校を統合した「（仮称）榎尾学園」の開校

【横山校区の登下校】

児童：スクールバス（マイクロバス）・徒歩
生徒：徒歩・自転車

【南横山校区の登下校】

児童：スクールバス（マイクロバス）
生徒：路線バス・路線維持バス・自転車

【地域交通】

横山・南横山校区をワゴン2台で運行
（うち、南横山校区は父鬼線との競合を避けるため特定利用者のみ乗降可）

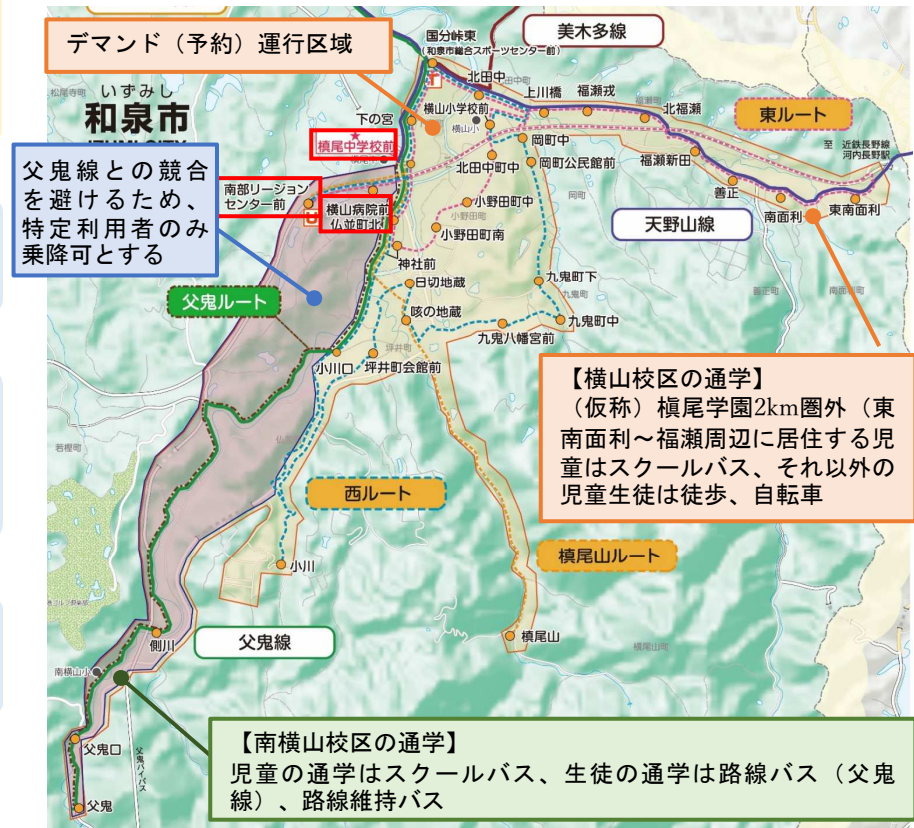
< 運行方法 >

- ・現在のオレンジバスの運行エリアをカバーしつつ、横山、南横山校区を予約運行（デマンド）方式で運行する。
- ※南横山校区は路線バス父鬼線との競合を避けるため、特定利用者のみ乗降可とする

● 予約運行（デマンド）方式の特徴（例）

予約の方法：電話もしくはアプリ
予約のタイミング：事前（3日前）からリアルタイム
乗降場所：既存のオレンジバス停留所+αを想定

< 運行区域図（案） >



< マイクロバス・ワゴン車両の運用（案） >

号車	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
スクールバス（マイクロバス）	横山地区→（仮称）榎尾学園 南横山→（仮称）榎尾学園					横山南横山下校	横山南横山下校	横山南横山下校	横山南横山下校	横山南横山下校	横山南横山下校	
ワゴン1		往診代替		往診代替								
ワゴン2												

地域交通を主として運行

■ 通学直行便として運行
▲：南横山校区の往診代替として、利用を限定した上で週1日1往復 父鬼口（父鬼町会館前）ー横山病院前を運行



〈報告案件〉

□オレンジバス運行見直しの検討状況について…P.3～P.12

■オレンジバス運行内容の主な変更点

現状：オレンジバス

見直し案

運行目的

- **横山・南横山地区**において、日中の**地域住民の移動支援**として運行

横山地区



横山地区+南横山地区

(南横山地区は特定利用者のみ乗降可)

車両

- 車両が1台から**2台に増車**となり、**輸送機能が強化**

1台



2台

(うち、1台は横山病院の往診代替車両兼ねる)

運行方法

- **停留所を細かく設置**することが可能となり、**利用者ニーズに応じた運行**が期待

決められた
路線・ダイヤで運行
(定時定路線の運行)

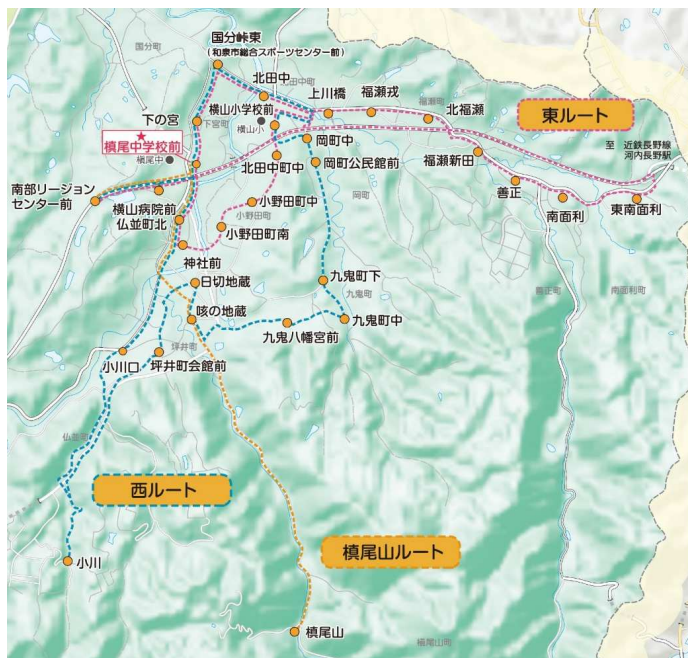


**予約内容に応じて柔軟に
ルート、時間を設定し運行**
(デマンド(予約)運行)

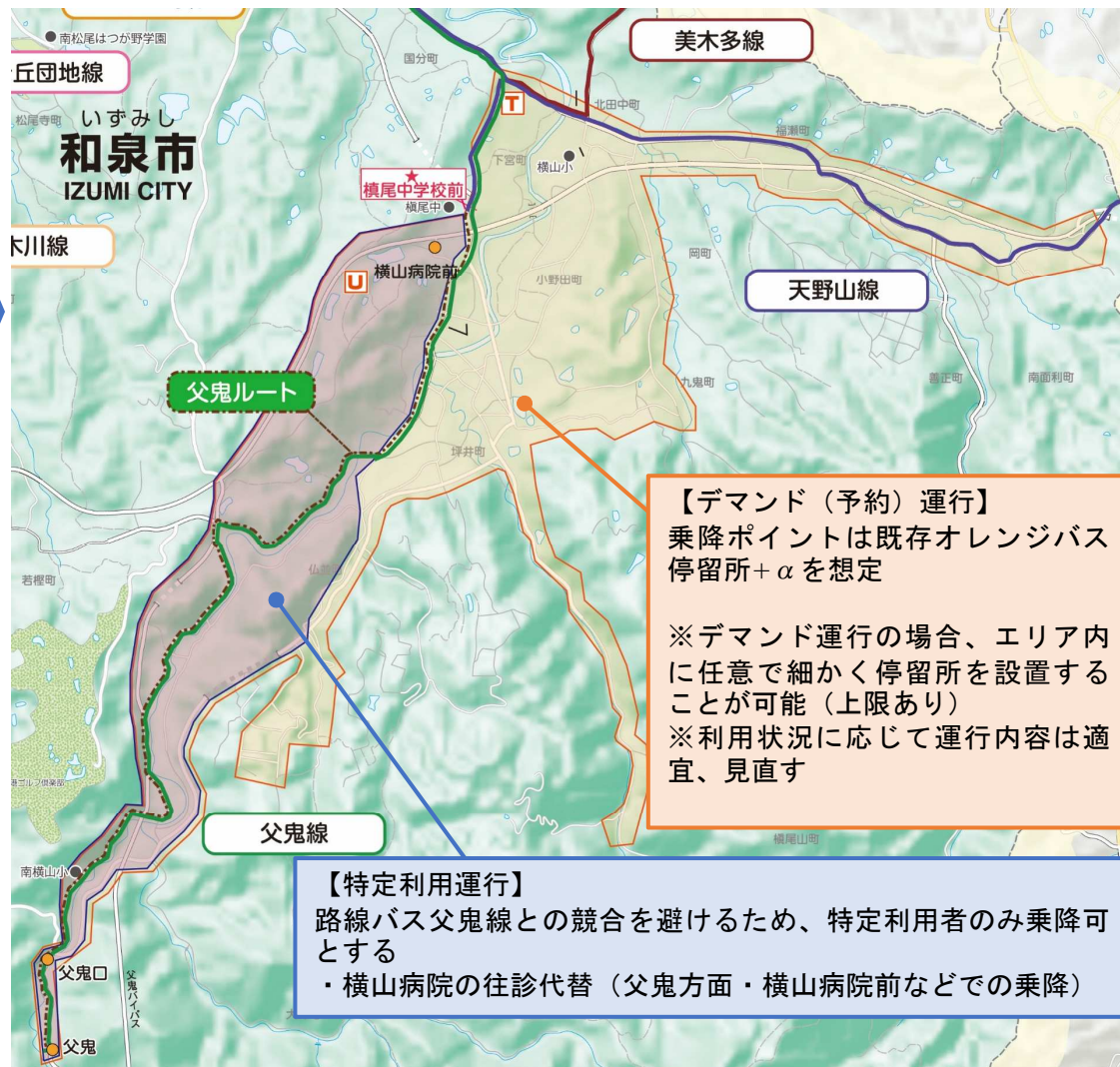
槇尾校区地域交通の検討

■ 運行内容の比較

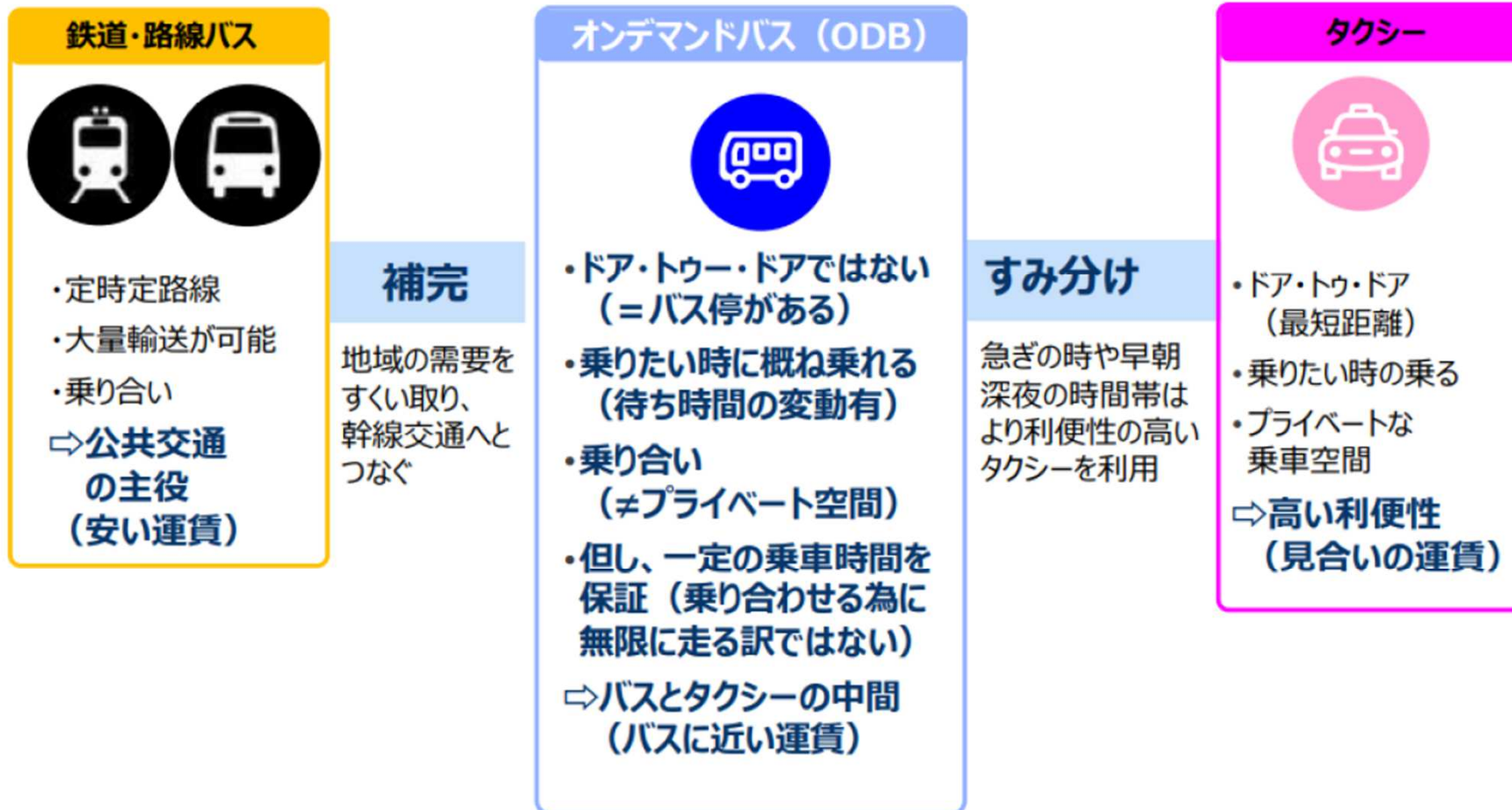
現状：オレンジバス



見直し案

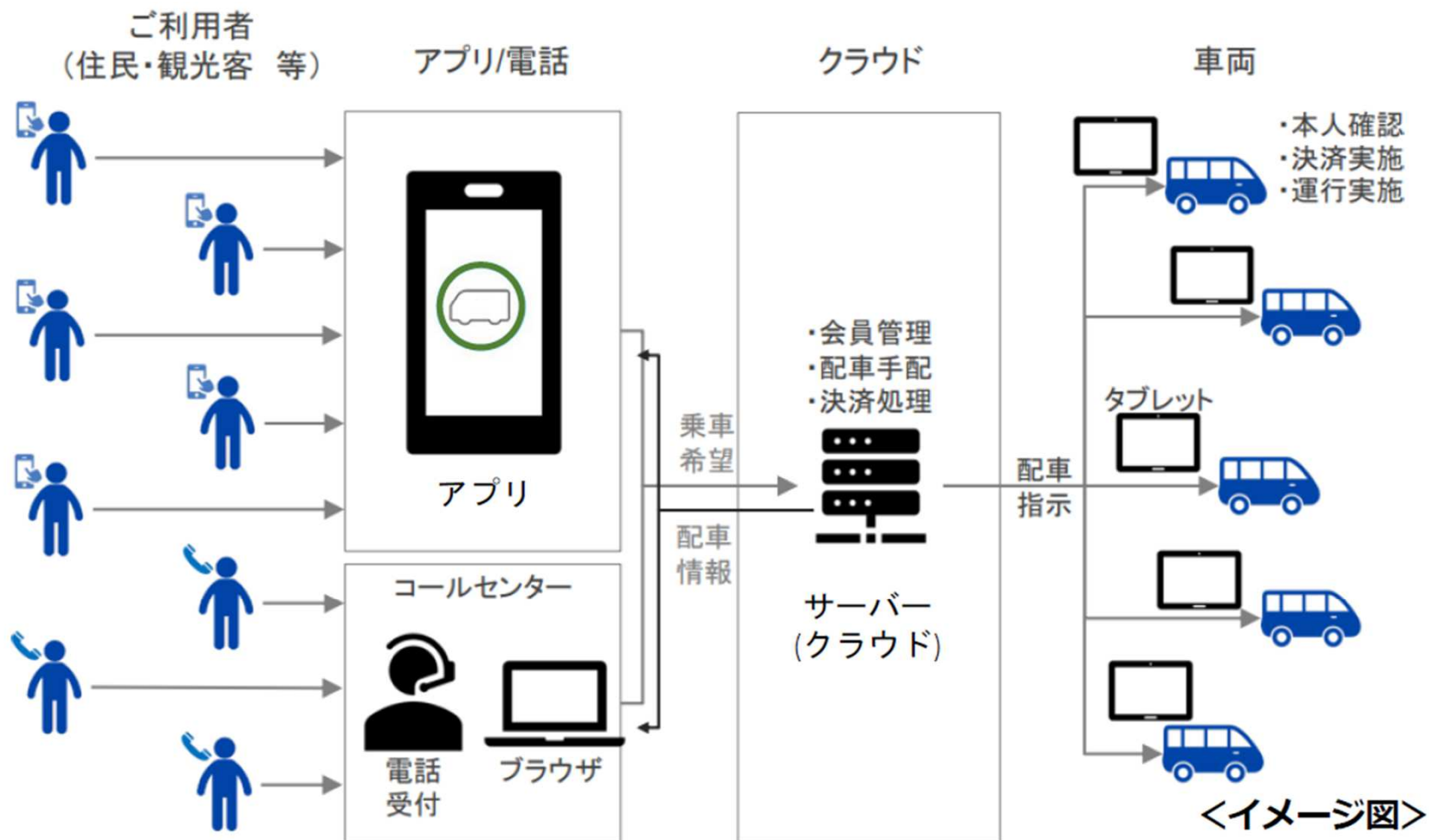


■オンデマンドバス（ODB）は路線バスとタクシーの中間的位置づけ



槇尾校区地域交通の検討

- 予約（アプリやコールセンター等）で受け付け、クラウド上の配車サービスで配車処理を行い、配車指示が乗務員のタブレットに伝達



■ A | オンデマンドバス導入に向けた検討項目

項目	想定内容	備考
①運行エリア	横山校区 + 南横山校区 (オレンジバス西・東・槇尾山ルート代替、南横山往診)	路線バス等の既存公共交通と競合に留意が必要
②乗降ポイント	概ね1km ² に10箇所程度	路線バス等の既存公共交通と競合に留意が必要
③車両	ワゴンタイプ8人乗りを想定	車内改装などで密回避
④運行体制	2台	想定利用者数等を考慮して設定
⑤運行日	「平日・土休日運行」「平日のみ運行」等を設定	
⑥運行時間	「9:00~17:00」等を設定	概ね7.5時間を想定
⑦運賃	「移動距離に応じて200~500円」、「一律300円」等を設定	
⑧電話受付時間	問い合わせや予約の電話受付時間を設定 平日9:00~17:00(8時間)など	
⑨予約方法	「アプリ・電話」「アプリのみ」等を設定	
⑩予約のタイミング	「事前(3日前から)・リアルタイム」等を設定	
⑪決済方法	「現金のみ」「現金・クレジット・交通系IC」等を設定	おでかけ支援チケット併用検討

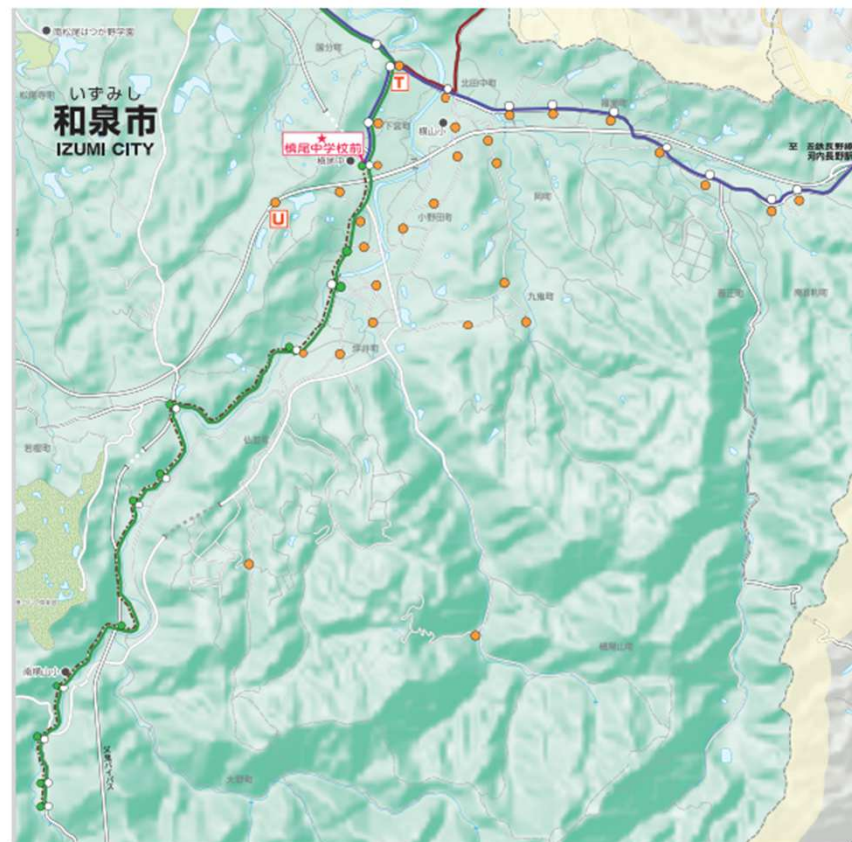
①運行エリアと②乗降ポイント

【運行エリアの考え方】

- ・ オレンジバス(横山)及び往診(南横山)の代替交通としてエリアを設定

【エリア内の乗降ポイント設置の考え方】

- ・ 路線バス乗継による多方面への移動
 - ・ 町会館、老人集会所などのコミュニティ形成
 - ・ 生活関連施設(病院、J A、郵便局など)への移動
 - ・ 公共施設(南部リージョンセンターなど)への移動
 - ・ 地元で認知されたオレンジバス停留所の活用
 - ・ 乗降ポイントまでの移動距離
 - ・ 安全な乗降場所の確保
- ⇒既存公共交通(バス・タクシー)と競合に留意が必要



③車両と④運行体制

【車両についての考え方】

- ・使用する車両は、ワゴンタイプ
- ・通常15人乗りの車両

【運行体制についての考え方】

- ・車両を1台から2台に増車し輸送機能を強化
- ・2台のうち、1台は南横山校区での横山病院の往診代替車両として兼用



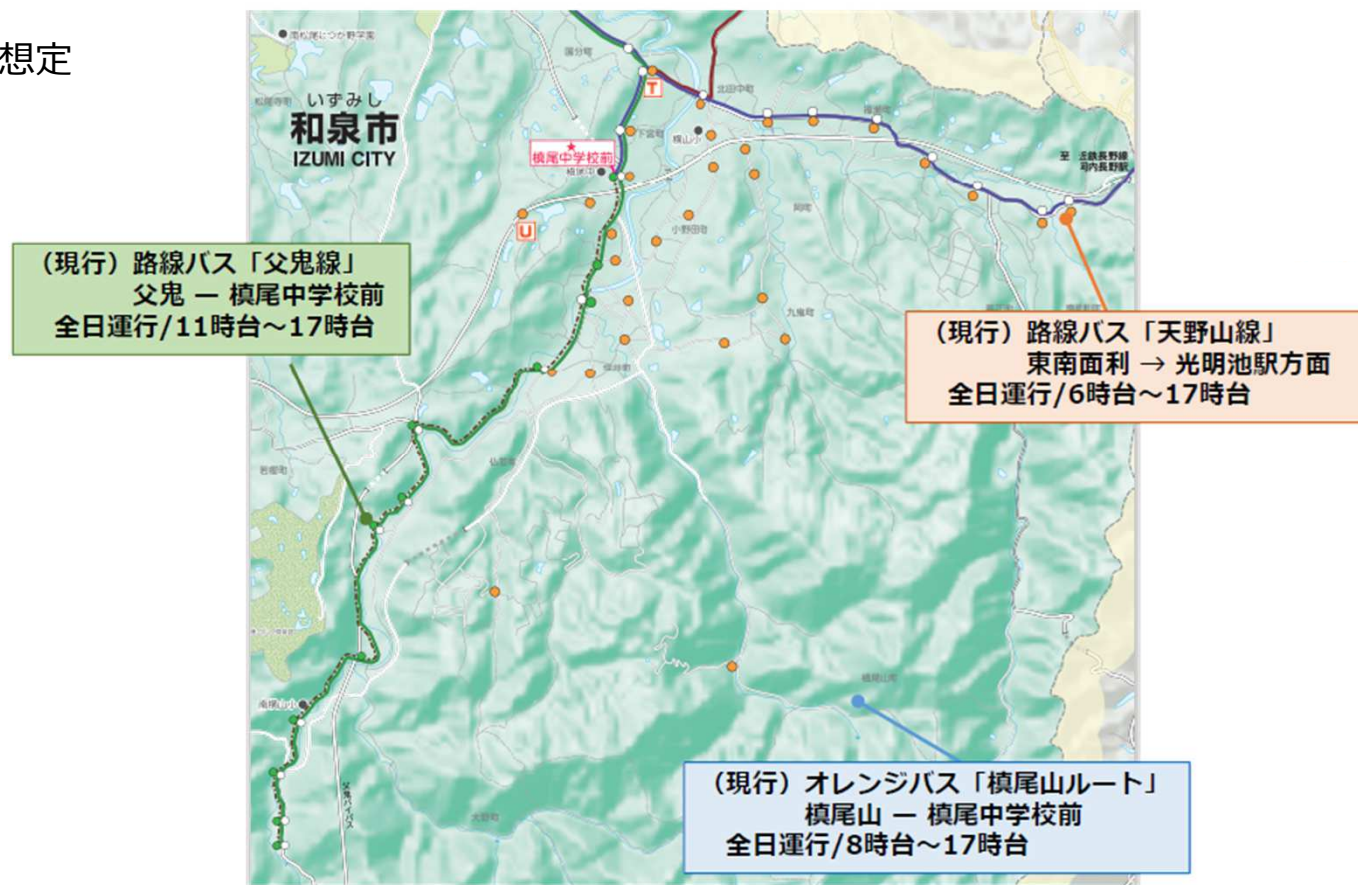
⑤運行日と⑥運行時間

【運行日の考え方】

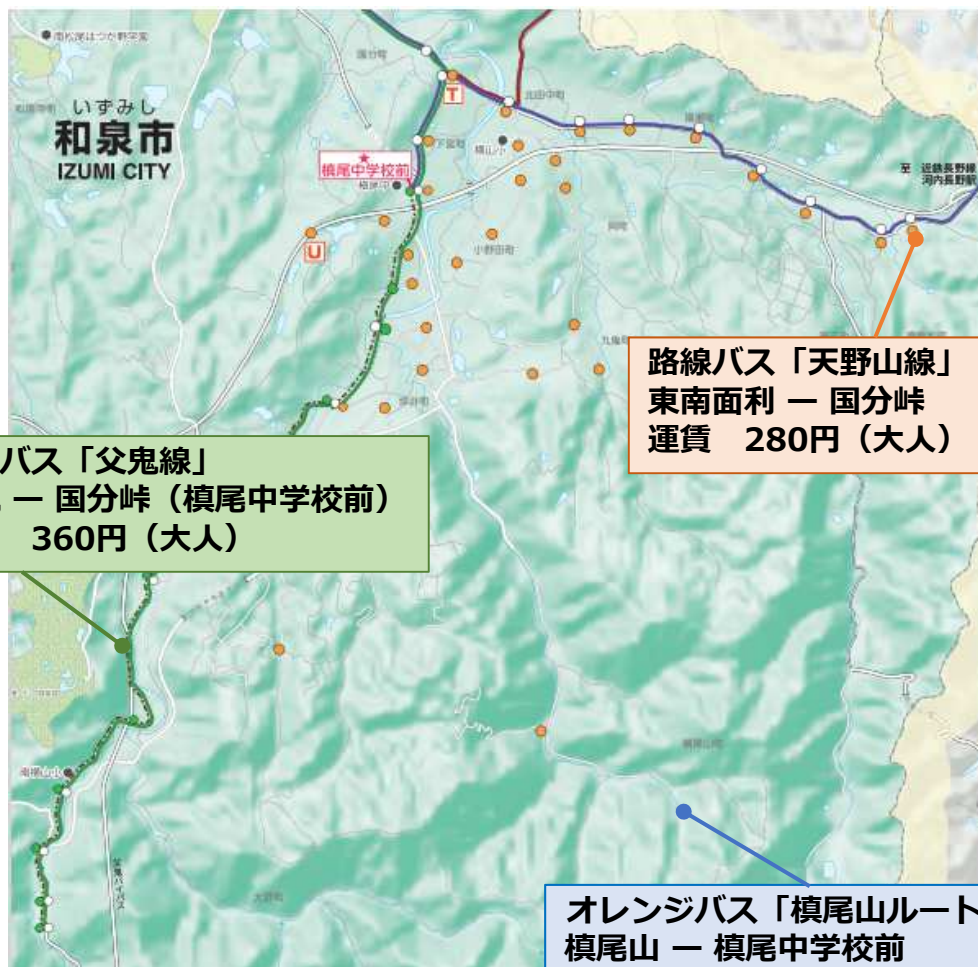
- ・「平日・土休日運行」、「平日のみ運行・休日運行(槇尾山ルートのみ)」等を設定

【運行時間の考え方】

- ・運行時間⇒ 1日約7.5時間を想定



⑦運賃



路線バス (父鬼・天野山線)		オレンジバス	
父鬼 - 国分峠	東南面利 - 国分峠	西・東ルート	榎尾山ルート
360円 (大人)	280円 (大人)	100円 (大人)	300円 (大人)



A1 オンデマンドバス	
校区内移動	榎尾山-榎尾中学校前
「移動距離に応じて200~500円」、 「一律〇円」等を設定	「一律〇円」等を設定



■今後のスケジュール（案）

令和4年度				令和5年度
	11月	12月	3月	4～3月
上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開校準備委員会 ・定例教育委員会 			
中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化プロジェクト委員会 (最終案) 		<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告 	
下旬		<ul style="list-style-type: none"> ・定例教育委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化プロジェクト委員会 (槇尾校区ODB導入計画素案) 	

今後の関係各機関との協議等により変更となる可能性があります。